

Population

人のうごき (福智町の人口)

●人口 25,000人
前月比+1人
前年比-230人

●男性 11,842人
●女性 13,158人

転入 61人・転出 56人
出生 27人・死亡 31人

●世帯 11,193世帯

前月比+9世帯
前年比-10世帯

※平成23年8月末現在(住民基本台帳人口)

Fukuchi town

42.04km²

Fukuoka prefecture

お亡くなりになったみなさんのご冥福を、心よりお祈り申し上げます。福智町長・福智町議会議長
― 弔電はひかえさせていただきます ―

Tax

おさめて安心(税の納期限)

- 町民税 [3期] 10月31日(日)が納期限です
- 国民健康保険税 [4期] 10月31日(日)が納期限です

Event

チクホーnet (近隣の催し)

【田川市】山本作兵衛コレクション展

9月17日(土)～平成24年1月9日(日)

9時30分～17時30分(石炭・歴史博物館)

料金:小中生50(30)円、高校生100(70)円

大人210(150)円 ※()内は団体

休館日:日(日が祝日の時は四)、年末年始

世界記憶遺産に登録された697点のうち、石炭・歴史博物館が所蔵する627点の資料群から、炭坑記録画(水彩画・墨画)の原画などの貴重な遺産を特別公開します。



田川市 石炭・歴史博物館 ☎44-5745

←生涯で千点以上の作品を残した作兵衛氏、絵画・日記・雑記帳など697点が日本で初めてとなる世界記憶遺産に登録されました。

Medical health

保健の掲示板

10月16日から11月15日までの保健事業日程

- 10月19日(木)【7～8か月児健診】
7～8か月児を対象(個人通知します)
[会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
 - 10月26日(木)【4～5か月児健診】
4～5か月児を対象(個人通知します)
[会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
 - 10月26日(木)【乳幼児相談】
2か月児と、身体計測や育児相談などの希望者対象
[会場]コスモス保健センター [受付]14:30～15:00
 - 11月2日(木)【3歳児健診】
3歳～3歳1か月児を対象(個人通知します)
[会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
 - 11月9日(木)【1歳6か月児健診】
1歳6か月～1歳7か月児を対象(個人通知します)
[会場]コスモス保健センター [受付]13:00～14:00
 - 11月11日(土)【健康相談】
健診結果や介護など相談希望者対象
[会場]コスモス保健センター [受付]13:30～15:30
- ※金田・方城地区での健康相談をご希望の場合は、コスモス保健センターまでお気軽にお問い合わせください。各保健センターなどでご希望に応じて実施いたします。(予約制)
- ☎ コスモス保健センター ☎28-9500

Medical check up

方城保健センターでの健診

申込期限まで残りわずか!!

問診や診察、身体測定、腹囲測定、血圧、血液検査、尿検査などの基本的な項目は、加入している健康保険の種類によって受診場所や申し込み先がそれぞれ異なります。お間違えのないようご注意ください。

※詳細は広報8月号に掲載していますので、ご覧ください。

電話での申込受付期間:10月14日(金)まで

日程:10月21日(金)・22日(土)・23日(日)・24日(月)

場所:方城保健センター

☎ コスモス保健センター ☎28-9500



方城保健センター

保健師だより No.54 予防接種 Q&A

ヒブワクチン、小児用肺炎球菌など、最近になって予防接種の種類が増えました。予防接種を効率よく安全に接種し、わが子を危険な病気から守りましょう。

☎ コスモス保健センター ☎28-9500



Q1. 一時中断したヒブワクチンや小児用肺炎球菌ワクチンは安全?

A. 今年の3月、同時接種後に死亡したお子さんがいたため、因果関係などを慎重に検討するために一時中断しましたが、「安全性上の懸念はない」とし、4月に接種が再開されました。

これらのワクチンを接種する月齢は乳幼児突然死症候群(SIDS)の発生時期と重なるため、接種後に偶然SIDSが起こる可能性が考えられています。SIDSの原因は解明されていませんが、日本では年間160人程度の死亡例があります。新しいワクチンが始まってSIDSは増加していませんので、ワクチンが原因とは考えられていません。

不安を感じて接種をためらっている保護者のかたもありますが、ヒブワクチンや肺炎球菌ワクチンで予防している「髄膜炎」にかかってしまった場合は、病気の進行が早く、治療開始が遅れると深刻な後遺症や死亡することもあります。適切な情報を入手し、副反応や有害事象などの情報のみで予防接種を控えることはやめましょう。病気の進行の速さと予後の悲惨さを経験している小児科医は、この2つのワクチンの普及を心から願っています。



疑問や不安を解消して
予防接種を受けましょう

★日本小児科学会 HP <http://www.jpeds.or.jp/saisin-j.html>

★「VPDを知って子どもを守ろう」の会 <http://www.know-vpd.jp/> (※接種スケジュールも載っています)

Q2. 同時接種はワクチンの効き目が悪くなる?

A. 同時接種したことでワクチンの効きが悪くなることはなく、それぞれのワクチンの有害事象や副反応の頻度が高くなることもないことがわかっています。さらに、同時接種する本数に原則制限もありません。



Q3. 同時接種しても大丈夫?

A. 日本小児科学会は「諸外国では、同時接種は一般的に行われている医療行為であり、特に乳児期には、三種混合ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンなどの重要なワクチン接種が必要で、これらのワクチン接種がようやく可能となった現在、日本の子どもたちをこれらのワクチンで予防できる病気(VPD)から確実に守るためには、必要なワクチンを適切な時期に適切な回数を接種することが重要である。そのため、日本でも同時接種をより一般的な医療行為として行っていく必要がある」との見解を公表し、同時接種を前提とする予防接種スケジュール案を発表しています。

Q4. ヒブワクチンと肺炎球菌ワクチン、同時接種するか迷っています。

A. ヒブと肺炎球菌は小さな赤ちゃんが感染すると特に重症化しやすく、早い時期に免疫をつけたい病気です。しかも1回の接種では免疫がつきにくく、2～3回目ぐらいの接種から効果が出るので、これを同時に接種すれば生後6か月頃にはどちらも免疫が付きやすくなります。反対に別々に接種すると、免疫の獲得が遅れるので、病気にかかってしまうリスクが高まり、何度も接種に行かなくてはならないなど、保護者や子どもの負担も増えることとなります。接種医と相談しながら、なるべく早めに免疫をつけてあげましょう。